

# 令和7年(度)安全衛生管理計画

(独自で年間安全衛生管理計画を作成している場合や記入しきれない場合は、別途資料を添付してください。)

事業場名 <b>株式会社 石川労働</b>	作成者職氏名 <b>健康安全課長 労働次郎</b>
--------------------------	------------------------------

労働災害の発生状況	期間 (前年(度)) <b>R7.1.1</b> から <b>R7.12.31</b> まで	発生状況				延べ労働損失日数 (計算方法は裏面) <b>30</b> 日	延べ実労働時間数 <b>180,000</b> 時間	度数率 <b>5.56</b>	強度率 <b>0.17</b>	度数率及び強度率の算出方法は裏面を参照
		死亡災害	休業災害		合計					
		<b>0</b> 人	<b>1</b> 人	<b>0</b> 人	<b>1</b> 人					

安全衛生基本方針	転倒災害防止対策をハード・ソフト両面で実行し、減少を図る。 機械設備についてリスクアセスメントを実施し、改善措置を計画的に実施する。 労働者の健康増進を図り併せて体力増進を図る。	年間目標	転倒災害を昨年より5%以上減少させる。
----------	---	------	---------------------

前年度の反省点	計画したリスクアセスメントが一部の担当者でしか実施されず、作業者の参加がなかった。 計画を実施したが一部で評価を怠り、改善の検討がされていなかった。 労働者の体力測定の結果、多くの労働者で体力年齢が下回った。	実施概要	労働災害の分析 (主に転倒災害の分析) リスクアセスメントの実施とその改善措置の実施 一般健康診断有所見率の改善対策の実施 運動の促進
---------	--	------	--

重点実施項目	実施内容(重点別目標)	実施スケジュール												備考 (実施者、手順書の有無、記録の作成)
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
① リスクアセスメント等の実施	実施体制の整備 (作業者まで含む) 実施状況の点検、問題点の洗い出し モデル作業場を選定し実施													安全衛生委員会での協議 安全管理者、職長 全労働者
② 転倒災害防止対策	災害の分析 (場所、原因、被災者の年齢等) ヒヤリ・ハット報告 危険マップ (次年度用) 労働者の筋力アップ、体力測定													安全衛生委員会での協議 安全管理者、職長 全労働者
③ 健康確保・職業性疾病预防対策	一般健康診断の実施 健診結果からの事後措置													安全衛生委員会での協議 衛生管理者、産業医 全労働者
④ メンタルヘルス対策	計画の策定 スタッフ研修 管理者研修 労働者研修													安全衛生委員会での協議 衛生管理者、産業医 全労働者
⑤ 過重労働対策の実施	時間外労働の計画的削減 超過勤務時間に対応した健康相談													安全衛生委員会での協議 衛生管理者、産業医、総務担当者 全労働者

重点実施項目	実施内容(重点別目標)	実施スケジュール												備考(実施者、手順書の有無、記録の作成)
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
⑥ 化学物質による健康障害防止対策	使用している化学物質の洗い出し 化学物質に係るリスクアセスメントの実施準備													安全衛生委員会での協議 衛生管理者、該当する職長
⑦ 高年齢労働者の安全と健康確保	職場環境の見直し整備 体力測定													安全衛生委員会での協議 安全管理者、衛生管理者、産業医 全労働者
⑧ 熱中症対策	天候の確認(気温、湿度) 必要な機器の整備 労働者へ対策の周知													安全衛生委員会での協議 安全管理者、衛生管理者、産業医 全労働者
⑨ 受動喫煙対策	方針の決定 実施に向けての意見聴取 具体的計画の作成													安全衛生委員会での協議 衛生管理者 全労働者
⑩ 労働災害の分析	ヒヤリ・ハット報告の実施 災害報告用紙の整備 災害分析													安全衛生委員会での協議 安全管理者、職長 全労働者
⑪ 安全週間・衛生週間	標語募集 一斉清掃、一斉点検 安全、衛生講話													安全衛生委員会での協議 安全管理者、衛生管理者、産業医 全労働者

省 略

#### 度数率の算出方法

$$\frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 1,000,000$$

#### 強度率の算出方法

$$\frac{\text{延べ労働損失日数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 1,000$$

#### 労働損失日数の計算

- (イ) 死亡 7500日
- (ロ) 永久全労働不能及び永久一部労働不能

身体障害等級(級)	1~3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
労働損失日数(日)	7500	5500	4000	3000	2200	1500	1000	600	400	200	100	50

- (ハ) 一時労働不能 暦日の休業日数×300+365